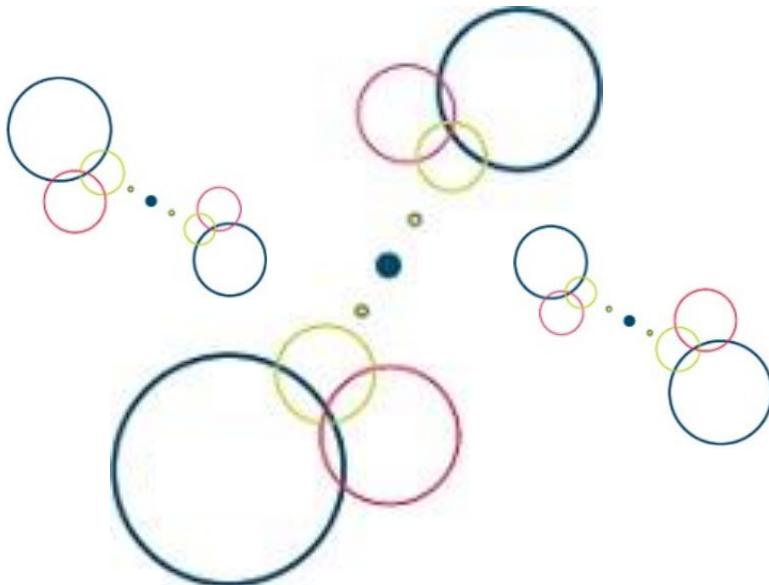


廣瀬仁のルポルタージュ

靈的人生を歩むためのヒント

2025/12/17



廣瀬仁のルポルタージュ 精神的人生を歩むためのヒント



「E21-F ④」 ^{アルトヌウロウイ} ARUT.NOROUY 足立育朗

比較的若い時期に世の中について知っていく

わたしは、人生の三大テーマは「**靈的真理の信仰實踐と普及**」、「**音叉セルフヒーリング**」の實踐による靈の心優位の普及、「**ユーワード活動による利他、奉仕の實踐**」というのが三大テーマと考えています。この三大テーマは、たぶん多くの人にとっても必要なことだと思います。

- ① 瘡的真理（シルバーバーチの靈訓、スピリチュアリズムの思想體系）^{EXA PIECO}の信仰實踐
- ② 瘡的真理の地上世界への普及
- ③ 瘡の心優位、生命の調律、^{いのち}禱りのための音叉セルフヒーリング
- ④ 調和の實踐、調和のとれたコミュニティーづくりのためのユーワード活動

靈的眞理は『シルバーバーチの靈訓』と『スピリチュアリズムの思想體系』^{たいけい}で語り

尽くされていますが、その信仰實踐の生き方が最も大切であり、その信仰實踐のため
に音叉セルフヒーリングという靈優位の手段、ユーワード活動という利他の實踐の場
所が存在すると考えています。

わたしが周波數について本格的に追窮し始めたのは2011年からであり、永伊智一の

講演會^{こうえんかい}と会員限定の本音ブログが理由です。永伊智一はNHKに勤めていたことがあ
り、映画監督、ジャーナリストの人間であり、どうぶつ問題についてを深く言及し、
現在は眞實^{しんじつ}の情報を基に眞の健康情報の實踐と普及をしている人間です。

わたしは2009年～2016年まで会員限定コミュニティーを通して様々な情報を學んでい

たからこそ、表には出ない裏の情報に精通しています。そして、陰謀論と呼ばれる裏の支配権力のシステムについて知つていくことになりました。2009年だと、わたしは当時23歳なので、23歳にして世の中の実態を学ぶことになりました。

永伊智一が周波数について言及し始めたのは、永伊智一と増川いづみ博士が2010年頃に繋がり、音と電磁波、周波数について当時、増川いづみ博士の非公開の勉強会で永伊智一が学び始めてからだったと記憶しています。それが当時の会員限定の記事で書かれており、永伊智一の本質は物質主義なのですが、精神世界的なことを語り始めたのも増川いづみ博士と出会ってからだと思います。

永伊智一は2011年の東京での講演会で、528 Hzや440 Hzの話をした上で、「最終的に人

類を救うのは言葉と音だ」と明言したのが、わたしの周波數の追窮の始まりになりました。その過程で「ソルフェジオ音叉」を購入し、ソルフェジオ周波數を知ろうとしたのが音叉の始まりだったのです。

わたしは当時、永伊智一の講演會と会員限定の記事から知つていき、世の中の裏の支配構造、カラクリを知つていく中で、**「病人激増社會」**になるのを予期し、だから健康の仕事をしていこうとしてし、リラクゼーションセラピストの仕事を始めました。

わたしのリラクゼーション時代は「黒歴史」のひとつであり、2014年に冤罪でクビになるのを含め、わたしは今世の人生、何度冤罪を着せられたことか……。そうした冤罪も含め、地上人類の腹黒さを知つていくのですが、本当に「味方、善人のフリして人を騙してくる奴の多さ」に驚きます。まさに殆どの日本人は自覺のない精神疾患です。

地上世界は嘘つき、詐欺師ばかりの世界

今でこそ、騙されないように人を見抜く眼を養つてきましたが、わたしの本性は「人には騙されやすいタイプ」であり、散々嫌な目にあって、「疑う」というのを身に着けてきました。わたしが姓名判断を高校生から身につけたのも、「人の本性を知るための手段」としてであり、そこから數秘術、手相、人相、タロット、占星術などにも手を出して、人を知ることで騙されないようになっていきました。

わたしは地上世界を「詐欺師の世界」と思つており、靈界通信のひとつである『よひとやむみな』でも地上世界のことを「だましの世」と述べています。そもそも靈界はテレパシー通信なので騙すということが出来ません。嘘などすぐバレますし、通用

しません。靈性が進化している人間は、テレパシー通信の精度が高いのです、嘘は一切通用しません。地上世界に詐欺師が多い現状は、そのまま地上人類の靈性の低さを物語っています。

疑問の數が知識の數、知識の數が人生を飛躍させる

話は變りますが、人間の3つの力、「關心力」と「行動力」と「生命力」、これらを高めなければ人生の向上は絶対にありません。「神意の反対は憎しみではなく、無關心」とマザー・テレサやエリ・ヴィーゼルが述べたとされますが、地上世界の悲劇の原因は「靈的無知」というひと言に集約されます。しかし、何故地上人類は靈的無知なのか？と問われたら、それは殆どの人間が地上世界の問題に「無關心」であり、

自分のことしか考えてないからです。「無知は罪」という言葉がありますが、これにランクをつけると、「大衆の無關心が最大の罪」になり、「善人の無口は無知より罪」であり、「無關心と無口が、靈的無知の最大の原因」なのです。

關心力とは、「疑問の數」であり、疑問の數だけ「質問」が生まれます。質疑應答とはよく言つたものです。どれだけ様々なことに疑問を向けているか、その疑問を解決しようと靈界に質問すれば、意味不明な質問を除き、大抵の答えは返ってきます。なので、「どれだけ世の中の仕組みに疑問を抱いているのか」が大切です。その対極にあるのが「洗脳とは疑問を抱かせないこと」なのです。

だからこそ、「疑問の數が知識の數、知識の數が人生を飛躍させる」という話をし

て いる時がある理由は、「世の中の違和感を見逃さない直觀、感覺、感性を持ち、その感性を忘れないようにする」ためです。

靈的真理を理解できないという人間の正體

しょうたい

廣瀬仁は、様々な地上世界の問題に対する疑問が多かつたからこそ、その原因、本質を追窮していった結果が現在の知識量です。すなわち、誰しもが疑問と質問次第で知識量を増やすことが可能であり、何事にも疑問を抱かない順々な奴隸思考だと知識量を増やすことは不可能です。そして、その知識が更なる「直觀」の源泉となり人生を飛躍させることが可能になつてくるのです。本来、知識や情報とは直觀や感覺を磨くために必要なものであり、知識や情報で思考が混乱するのは異常なのです。なぜ思

考が混乱するのか、それは**顯在意識**で理解しようとするとからです。理解とは、自分自身の損得勘定が入ります。自分の**顯在意識**の都合で情報をねじ曲げようとします。そして、自分の都合の悪いことは省く、自分の都合のいい部分は受け入れる、これが理解の正體です。そして、**靈的眞理**は**顯在意識**の**EGHO意識**にとって都合が悪いから、**「理解できない」と愚者は口を揃えて同じことを言います。**それは、理解できないのではなく、**EGHO意識**にとって都合が悪いから眞理は受け入れたくないという心理なのです。

危機管理意識を持たなければ人生は墜落する

わたしは、疑問に思ったことの大半を自力で調べてきて、自力で這い上がってきた

人間であり、それは危機管理意識を持つて、最悪の状況を常に想定し、その最悪の状況にならないように積極的に行動してきた結果、そうなつただけです。

地上世界で最悪の状況とは、「病氣」と「貧困」です。だから、「健康とお金はセツト」であり、貧困層は病人が多い、病人は貧困層が多いというデータを踏まえると、それは「考え方によつて貧困と病氣になつてゐる」というのが分かります。じゃあ、その考え方とは何なのか?考え方によつて病氣になる理由とは「お金の使い方」に問題があるのです。

お金に「消費、浪費、投資という使い方」と、「キャッシュフロー・クワドランントによるお金の稼ぎ方の考え方」の2つを学ぶ必要があります。わたしは貧困にも病氣

にもなりたくないの、「お金は健康に投資し、病氣のリスクを少しでも減らしていく」という危機管理意識を持つています。地上世界で大切なことは「健康であり、衣食住の生活必需品の確保」であり、そのために「お金の使い方の見直し、お金を稼ぐ仕事の考え方を^か變えること」です。

なので、音叉のツールの購入は「健康への投資」であり、お金はあるのに音叉の購入は渋るという人間が多くいますが、それは「病氣と貧困になるかもしれない」という危機管理の欠如」が理由なのです。

危機管理意識の欠如した人間は、わたしは病氣にならないと思い込んで生きていますから、無駄なことにはお金は湯水の如く使う割には、肝心の健康にはまったくお金

をかけないというケースが大半です。だから、結局、そうしたマインドが原因になつて晩年、病氣と貧困という結果を作り出すわけです。

靈的真理の普及、靈優位のための音叉、生活必需品の確保と利他のためのユーワード

わたしは地上人類の全員が靈的人生を歩むには、「靈優位」、「調和の實踐」、「苦しみへの感謝」、「自然法則に適つた生き方になることでの健康」、「衣食住の生活必需品の確保と、普段は質素な生活」が大切だと思っています。すべてが揃つた時、ようやく人生の目的である「靈性の進化」が可能になると考えています。

そのために靈的真理の信仰實踐と普及、音叉による生命の調律、衣食住の生活必需

いのち

品の確保のためのユーワード活動、調和の実践の場所のためのユーワード活動が必要と考えています。

また、その中核になるのは「ユーワードの定期購入メニュー」です。そもそも人生の三大テーマを知りつつ、イエスの教えである「無償の奉仕と自己犠牲」を実践するのは現段階の地上世界では不可能に近い状態です。しかし、靈的眞理の普及、音叉セルフヒーリングの普及、健康と生活必需品の確保、無償の奉仕と自己犠牲を實現可能にする仕組みは、現時点はわたしが知る限り「ユーワード」の仕組みのみです。

靈的眞理の普及（シルバーバーチの靈訓、スピリチュアリズムの思想體系）^{たいけい}と音叉セルフヒーリングの普及、調和（無償の奉仕と自己犠牲）の実践すべてを叶えるには

ユーワードのシステムは必要なのです。

殆どの人間が肉の心に支配されている

D I K A G

靈優位の努力と、眞の健康のために音叉セルフヒーリングの實踐と普及をしていますが、正直わたし以外に普及の結果を出している人がいません。それは、結論から言うならば「肉の心優位で音叉ヒーリングを普及しようとしている」からであり、だから音叉ヒーリングを普及しようとしている殆どの人間に靈界からのサポートがなく音叉ヒーリングの必要性が地上人に傳わらないのです。要するに、動機が不純なのです。また、「命懸け」、要するに「本氣度」というのも結果に差を出します。そもそも命懸けだったら、必ず20%前後の人間の心は動かせます。誰の心も動かせないなら

ば、それは「自分自身の心の在り方に問題」があります。

そもそも、人生は「命懸け」でなければ生きているとはいません。生命とは靈で
あり、靈とは生命いのちです。「靈の心」とは、靈の表現器官であり、命懸けの本当の意味
とは「靈の心懸けいのち」といいます。そして「直觀に従うことが靈の心懸け」であり、直
觀を使つてなければ靈性の進化は不可能です。そもそも「肉の心の本質とは、靈の心
の直觀を、試行錯誤、工夫して地上世界で具現化するために存在する器官」です。し
かし、殆どの愚者は肉の心に支配されているため、「分からぬ」を言い訳にして自
分自身で試行錯誤、工夫することをしません。

「試行錯誤、工夫をしない人間に豊かな未來は訪れません」

DEVIK

DEVIK

DIKAG

DEVIK

EXA PIECO

EXA PIECO

EXA PIECO

EXA PIECO

無駄話をやめなければ、精神の大罪に当たることに氣づけ

わたしにとつて真理がすべてであり、真理がすべてに優先されます。真理には靈的真理と物質真理の2つが存在しますが、そもそも真理とは「永遠不變の法則」を意味し、絶対に變わることのない「宇宙の理」を意味します。そもそも眞の本当の意味が「永遠」であり「永遠の理」という意味で「眞理」なのです。

靈界通信のひとつに『よひとやむみな』がありますが、その一文に「神の力が烈しくなると、無駄な話はできんようになる。神の話しか出來んようになる。神の話、結構ぞ」と述べられています。しかし、肉の心に支配された愚者は、「我にとらわれておる者はよくしやべる。喋つておるうちは、我にとらわれておると思え。喋ることで

「氣が失われておるのぞ」

を何度も忠告しても、繰り返し無駄話をしてきます。

本来、靈的眞理に目覺めた者は「靜まれよ。さすれば、神の仕組みが分かつてくるであろう。神の心が分かつた者は、口數が減るのでじや。これまでに何が無駄な話であつたかが分かるのじや。靜まること、結構ぞ」という方向に向かうはずであり、無駄話を繰り返すことは「靈的大罪」であり、相手の貴重な時間を奪い、背後靈がせつかく与えた時間を無駄にし、自分自身の靈性を墜落させ、死後に暗黒地獄に行くような愚かなことをしているのです。

だから、わたしに「無駄」という言葉を投げかけられる人は要注意であり、肉の心に支配され、自ら靈的墜落をしていることを指摘しているのです。

D.I.K.A.G

サポート

そもそも、本物のバカというのは「無駄話」をしているからDEVIKに失敗するのです。本当は「口数が少ない方がDEVIKは成功する」サポートからです。そもそも、廣瀬仁の普段の会話は實は口数が少ないほうであり、講師やコンサルなどで話す機会以外はあまり喋らないほうです。

靈的真理の普及、音叉セルフヒーリングの普及、ユーワードの普及、すべてに当てはまることは、「殆どの人間は口は災いの元」で災いになり、「沈黙は金」を使いこなせるかが「あらゆる普及の鍵」なのです。「人生の成功者ほど沈黙という間を大事にし、愚者ほど間を大事にしない」、これが肉の心に支配されている正體しょうたいなのです。この情報を生かし、人生に役立てられるか、それとも無駄にするかは皆さん次第ですが、この記事の内容をコンサル時に質問できるなら向上の余地は残されているでしょう。